

JR東海労ニュース

No.2633

2021年11月3日

JR東海労働組合



2021年度冬のボーナス満額を勝ち取ろう！シリーズ⑩

各組合の年末手当要求の勤労情報を出さない会社 年末手当要求提出の情報を出さなかったユニオン 何か知られたくない理由があるのか？

会社は、今年度の各組合の年末手当要求に関する勤労情報を発行していません。同時にJR東海ユニオンも、年末手当の要求を会社に提出した旨の情報類が掲示されません。第1回団体交渉の内容の情報の一部の職場で掲示され、ようやくJR東海ユニオンの要求が明らかになりました。要求は、安定的支給ベース2.9ヶ月を大きく下回る2.5ヶ月なのです。

組合員はこの時期、年末手当に関することが気になる頃であり、組合役員は組合員に情報を周知するために掲示物を組合掲示板に掲示し、周知を図ります。組合掲示板を活用せずにSNSを活用しているかもしれませんが、組合掲示板は他労組組合員にも情報を見てもらうための宣伝のツールです。

JR東海ユニオンの情報は、「良識ある皆さん！〇〇労と決別し、JR東海ユニオンに結集しよう！」という決まり文句で、他労組組合員にも自分たちの主張を組合掲示板に掲出し宣伝しているはずですが、それがされていません。会社とJR東海ユニオンが両方とも年末手当の要求に関する情報を発行していないということは、「職場で年末手当に関する話題を触れて欲しくない」と考えているのでしょうか？

会社は今年末手当交渉の発言要旨には、「当社を含め新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている業種の中では、すでに冬期賞与を大幅に下げる、あるいは支給しないことを発表している企業も存在します」と書かれています。ということは、会社は低額支給を考え、JR東海ユニオンは要求に対する組合員からの不満を出させないようにするため、お互いに情報類を発行しないなどの約束がされていても不思議ではありません。

JR東海労は、年末手当の低額支給を許さないために、的確な情報を発行し、全社員に訴えていきます。